

官民連携による高齢者を支える取組について

千代田区生活支援体制整備事業

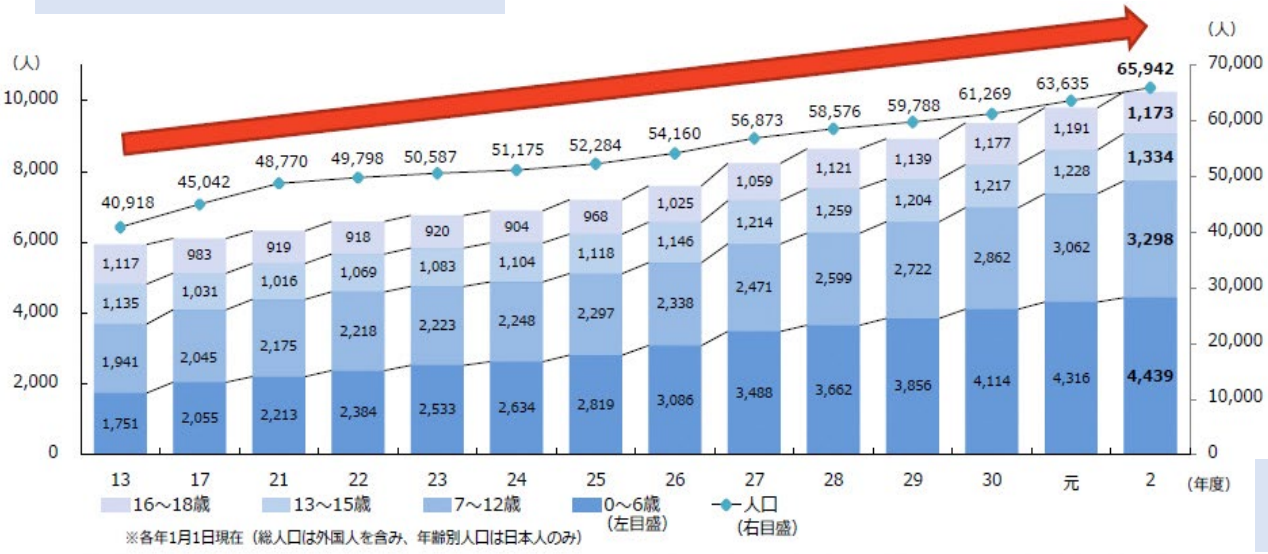
千代田区保健福祉部在宅支援課地域包括ケア推進係 小泉 隼人
株式会社アイセイ薬局 薬局営業推進部 次長 中川 裕子

千代田区の現状



千代田区の現状（人口について）

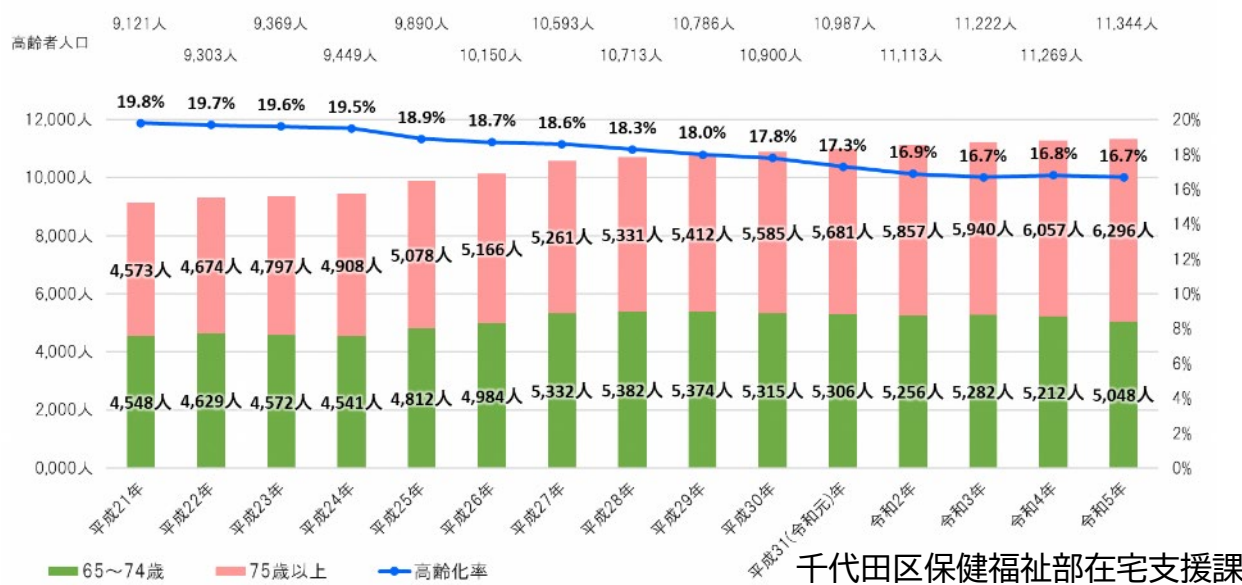
年齢別人口(0～18歳)の推移 0～6歳の人口は19年間で約2.5倍に増加



令和7年4月1日現在
・全人口 : 68,999人
・高齢者人口: 11,531人
・高齢化率 : 16.71%

・高齢者人口は年々微増
・「若い世代の人口増加」が「高齢者世代の人口増加」を上回っているため、高齢化率は年々低下している。
・高齢者のうち、75歳以上が半数を超える

千代田区の高齢者人口と高齢化率（平成21年～令和5年）



千代田区の現状（高齢者の世帯状況について）

65歳以上の高齢者 11,531人

75歳未満 4,858人(42%)

75歳以上 6,673人(58%)

75歳以上のうち、
ひとり暮らし等高齢者数

その他 1,419人(21%)

ひとり暮らし又は高齢者のみ世帯5,254人(79%)



75歳以上の人数のうち、
ひとり暮らし高齢者等の
介護認定状況

受けていない
3,414人(65%)

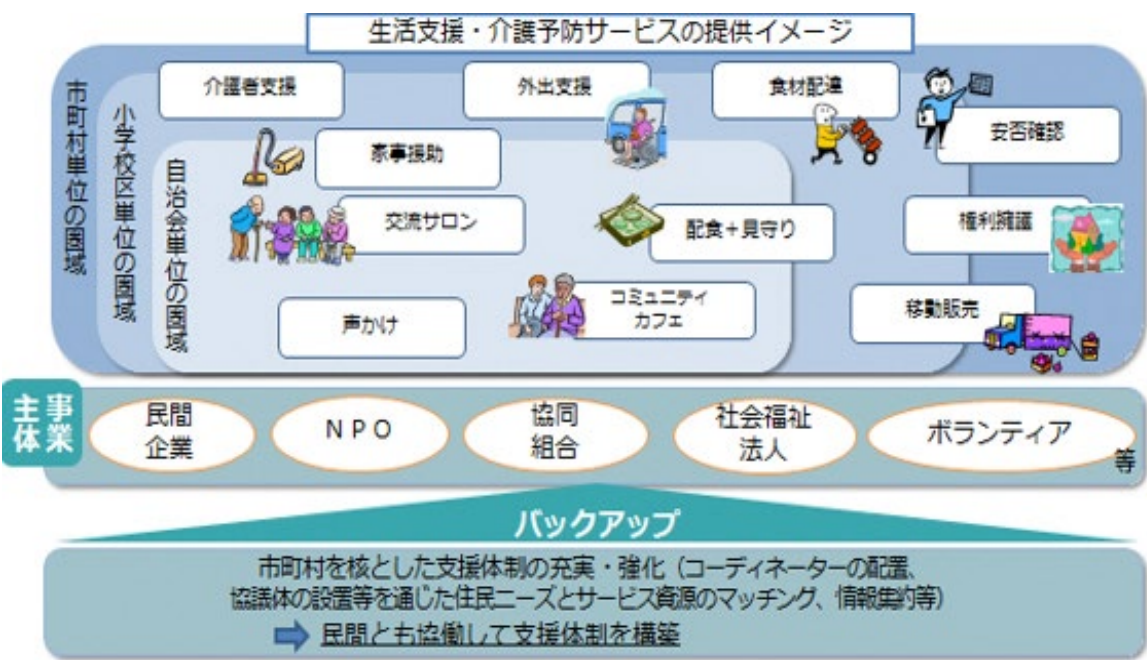
受けている
1,840人(35%)

- 千代田区における生活支援体制整備事業について
- 官民連携による取り組みまでの道のり
- その他民間企業等との連携について

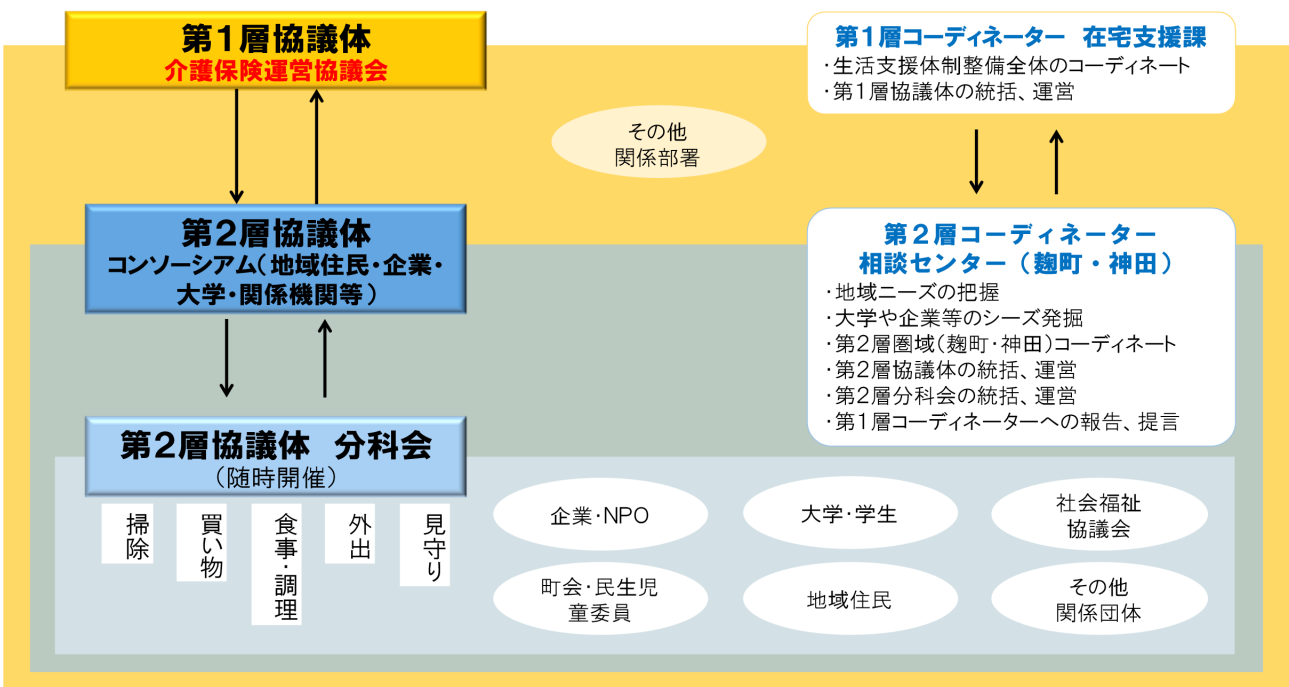
生活支援体制整備事業とは

生活支援体制整備事業とは、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう、地域で活動する様々な主体の連携による、「**地域の力で高齢者の生活を支えるしくみ**」の構築を目的とした事業である。千代田区には、企業・大学等の豊富な社会資源があり、それらの地域貢献意欲は高いものとなっている。その地域特性も活かしながら、地域住民・関係機関・企業・大学等の多様な主体が連携した新しい生活支援サービスを提供する仕組みづくりを推進する。

生活支援・介護予防サービスの提供イメージ



千代田区における事業イメージ



現在の形に至るまでの過程

事業開始後、調査検討を経て、現在の体形での運営へ移行。
千代田区の強みを活かす「生活支援体制整備事業」を開始。

経緯

平成 29 年度

千代田区生活支援体制整備事業 事業開始。

→千代田区社会福祉協議会へ委託する形で事業開始。

令和 2 年度

千代田区生活支援体制整備事業 調査検討業務

→これまでの事業体系を見直すとともに、千代田区のニーズとシーズについて調査。

令和 4 年度

千代田区生活支援体制整備事業再構築

→千代田の強みを活かした現在の事業体系で再スタート。

【第1層生活支援コーディネーター】

在宅支援課

【第2層生活支援コーディネーター】

高齢者総合サポートセンター「かがやきプラザ」相談センター

令和7年4月1日より開始！

民間企業の講師が区民のもとへ直接出向き、民間企業ならではのノウハウや専門的知識を活かした講座を原則無料で実施

(1)対象者 区内在住高齢者が参加する団体・グループ

(2)協力企業 12企業 延べ22講座

(株)クオンタムジャンプ、(株)アイセイ薬局、日本調剤(株)、Nail Sarasa(福祉ネイルサラサ)、日本製紙クレシア(株)、大王製紙(株)、日本カメラ博物館、プランスコポーレーション(アジャンタ)、(株)オリエントコーポレーション、アース製薬(株)、(株)ニッポン、(株)バスクリン

メニュー例

NO.14「トッパスリートによるエクササイズ講座」			
講座内容 パリオリンピックやアジア陸上競技選手権大会に出場経験のあるアスリートによる自宅でも簡単に取り組むことができる運動を実技も交えて紹介します。また、チェックシートから見える生活診断を通じて、生活習慣のアドバイスも行います。		イメージ画像 	
事業者紹介 株式会社オリエントコーポレーション 当社は1954年に創業し、オートローン、ショッピングクレジット、クレジットカード、料金決済や各種保証商品など、時代のニーズに合わせた安心・安全・便利な金融サービスを提供してきました。お客さまに信頼されるパートナーであり続けるために、お客さまや社会の未来を想像し、新たな価値を創造することに挑みます。		イメージ画像 2017年にオリコ陸上競技部を設立し、現在トッパスリート7名が所属しています。 【オリコトッパスリート紹介】 https://www.orico.co.jp/company/corporate/efforts/athlete/ ※実施限度 年1回	
実施人数 10～15名	申請期限 2か月前	所要時間 90分	事業者から講座紹介 ■こんな方におすすめ ・講座参加を通してスポーツ選手や同年代の方と交流したい方 ・身体を動かしたいけど何から取り組んだいいかわからないとお悩みの方 ・身体だけではなく心の健康にも取り組みたい方 ・フレイル予防に取り組んでみたい方
開催可能日時 平日 9時～12時 ※11～2月限定	必要物品 プロジェクター スクリーン	実費負担 無	

令和6年12月10日 ちよだアクティブシニア塾発足式の様子



【民間企業の出張講座】

ちよだ アクティブ シニア塾

千代田区在宅支援課

千代田区は、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを 人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。その取り組みの一環で、区内の民間企業の講師を地域の高齢者団体等に派遣する出張講座「ちよだアクティブシニア塾」を実施します。講師が区民の皆さんの元へ直接出向き、民間企業のノウハウや専門的知識を活かした講座を実施します。運動グループ、町会、サロンなどでご利用ください。

ちよだアクティブシニア塾～開催の様子～

栄養セミナー+健康チェック相談会
(株式会社アイセイ薬局)



ハンドケア講座
(福祉ネイルサラサ)



 事業者が講師となることのメリット

・新たな分野の講座展開 ・柔軟な講座運営 ・新規参加者の獲得

区民のニーズ調査 / 地域資源のシーズ調査

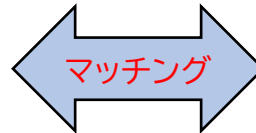
区民へのアンケート調査

民生児童委員へのヒアリング

介護事業者へのヒアリング

地域包括支援センター等へのヒアリング

- ・健康に関すること
(自分の健康状態が気になる)
(乾燥が気になる季節で手荒れが気になる)
- ・外出に関すること
(外出の機会の減少)
- ・社会参加、交流、地域活動に関すること
(スマホ教室を実施してほしい)
- ・その他
(ふとした瞬間に尿失禁がある)



区内大学へのヒアリング調査

区内企業へのアンケート調査

区内企業へのヒアリング

- ・健康に関すること
(最新機器を用いた健康チェック)
(ハンドケアに関する講座)
- ・外出に関すること
(趣味活動への支援)
- ・社会参加、交流、地域活動に関すること
(スマホ講習会)
- ・その他
(介護関連商品の開発)



こんな意見も

- ✓ 地域の高齢者とのつながりが無い
- ✓ 地域の高齢者が何に困っているかわからないから、なにをしたらいいかわからない

地域資源のシーズ調査

区内企業へのアンケート調査やヒアリング調査の他にも・・・

区内企業のHPを検索し、CSR(地域貢献)担当部署への企業訪問

相談センター・あんしんセンター・社会福祉協議会と繋がりのある企業へのアプローチ



協力を断られることも多い。諦めず、足を使って企業訪問を繰り返すことが一番大切

実際の取り組みの一部をご紹介します

01

フレイル測定会

ニーズ

(自分の健康状態が気になる)

シーズ

× (最新機器を用いた健康チェック)

区有施設(区民館)での健康チェック相談会を開催

株式会社アイセイ薬局 協力



02 季節の変わり目ケア講座

ニーズ

(乾燥が気になる季節で手荒れが気になる)

(ふとした瞬間に尿失禁がある)

シーズ

× (ハンドケアに関する講座)

× (介護関連商品の開発(自社製品の紹介))

2つのニーズを組み合わせた講座を開催

福祉ネイルサラサ、日本製紙クレシア株式会社 協力

取組までの流れ

住民のニーズを持って企業者や大学などの地域資源となりうる主体へアプローチ

時には企業のHPから直接電話で問い合わせます

- 何をしてほしいかを明確にすることが重要です。
- 地道な営業活動を継続することが大切です。

企業等として、なにができるのかを協議

- ・ 企業価値を高める（協定締結・広報・企業PRなど）
- ・ 高齢者の声を聞くことが出来る
- ・ 企業側の人材育成に寄与

- 企業等のメリットも考えることが重要です。

実施に向けた役割分担等の細かな事項を調整

- 広報、募集受付、当日の資料作成、場所の確保等、調整すべき点は複数あります。

取組を実施

アンケート等を活用し、振り返る事が大切

- 企業と連携して取組の運営を行います。

千代田区との連携について～株式会社アイセイ薬局～

企業紹介

- 会社名 株式会社アイセイ薬局
- 本社所在地 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2
- 代表者名 代表取締役社長 藤井 江美
- 創業 1984年9月
- 事業内容 調剤薬局事業、介護福祉事業、障害者自立支援事業
- 資本金 1億円
- 連結売上 838億円(2024年度)
- 従業員数 4,422人(グループ連携 2025年9月1日時点)
- 店舗数 410店舗(2025年9月1日時点)



アイセイ薬局本社



アイセイ薬局九段南店

千代田区との連携について～株式会社アイセイ薬局～

活動紹介

「ヘルス・グラフィックマガジン」
当社オリジナル季刊誌の配布



認定栄養ケア・ステーション*として
地域住民のみなさまへ健康で充実した生活を送れるようサポート活動を実施



タワーマンション住民向け
健康チェック&セミナー

地域包括支援センター様とのご連携

町内会とのコラボ
健康チェック&セミナー



出所:西神田町内会 西神田便り 2025年2月号

*認定栄養ケア・ステーションとは、地域の皆さまが栄養ケアの支援・指導を受けることができる地域密着型の拠点として日本栄養士会から認定されている施設

千代田区との連携について～株式会社アイセイ薬局～

千代田区との連携のきっかけ・理由

1 認知症サポート企業への参画

<当社取り組み>

認知症サポーター全社員取得推奨、認知症サポーター養成講座の自社開催
上記実績について認証を頂きました。

2 フレイル測定会への参画

<当社取り組み>

地域包括支援センターさまご依頼の健康チェック&セミナーを定期開催
上記実績より、在宅支援課地域包括ケア推進係さまよりお声がけ頂き、
当社メインで健康チェックイベントを企画・実施いたしました。

「千代田区と事業者の連携による高齢者等に対する
生活支援等サービスの実施に関する基本協定」締結



千代田区との連携について～株式会社アイセイ薬局～

区との連携、生活支援に取り組むメリット

メリット

- 協定を締結することで、地域貢献活動を実施しやすい環境が整う



自治体と連携したくても、1企業との連携はお断り頂くケースが多い
地域のみなさまのニーズを的確に把握ことができる

さいごに ～継続的なご連携・取り組みを維持するために～

●持続可能な優位性を確保することが重要●

- ▶ 企業内の理解も必要（取り組み意義や事例を周知する）
- ▶ 地域住民のニーズにお応えできるコンテンツをブラッシュアップしていくこと
- ▶ 費用面で持続可能な取り組みであること（双方に負担がないこと）

アイセイ薬局グループ



誰もがすこやかに、
笑顔でいられる毎日を

千代田区認知症サポート企業大学認証制度

千代田区を支える

認知症サポート企業大学 認証制度

認知症の正しい理解を持ち、認知症の人を支える取り組みを積極的に実施している千代田区内に本社・もしくは事業所がある企業・大学を「認知症サポート企業・大学」として認証しています！

認証後のビジョン

- 専用ステッカーおよび認証状を配布
- 千代田区の高齢者事業および認知症支援事業等との連携・協働
- 千代田区ホームページ、SNS、広報千代田区等で認証企業・大学の活動紹介および周知

【問い合わせ先】
千代田区 在宅支援課 地域包括ケア推進係
〒102-0074 千代田区九段南1-6-10 高齢者サポートセンターかがやきプラザ1階
TEL: 03-6265-6485
E-mail: zaitakushien@city.chiyoda.lg.jp

令和7年4月1日現在

8企業、2大学の計10機関を認証

(1)対象企業

- ・千代田区内に本社または支社・営業所を置く事業所
- ・千代田区内の大学・短期大学・専門学校

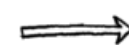
(2)認証要件

- ・**認知症サポーター養成講座を受講**した者が、区内の事業所または大学に勤務・通学していること
- ・認知症を支える**具体的な取組**を行っていること
- ・日常業務の中で高齢者のゆるやかな見守りを実施し、千代田区との連携強化に努めることができること



認証されるとどんなメリットがあるの？

取組の内容をHPなどで公開し、周知します。
またステッカーを配付し、店舗等に貼付していただきます。



**CSR(地域貢献)活動の様子を周知することで、
企業価値を高めていただく。**





01 実桜の会（認知症本人ミーティング）

デニーズや地域のカフェの場を貸していただき、「実桜の会」を開催

認証企業・大学：株式会社セブン&アイ・フードシステムズ、
カフェのん散歩

千代田区保健福祉部在宅支援課

ご清聴、ありがとうございました